

米中貿易戦争の激化で下げ幅を拡大

ベトナム市場はアメリカと中国の貿易戦争の激化から続落した。

101 銘柄が上昇したのに対し 203 銘柄が下落し、VN インデックスは 8.54 ポイント (0.88%) 安の 964.61 ポイントで引けた。

市場で売り圧力が強まると売買も増加し、出来高は前日比 7.6%増の 2 億 1,090 万株、売買代金は同 15.6%増の 5 兆 9 千億ドンとなった。

ハノイ市場では、HNX インデックスが 1.02 ポイント (0.99%) 安の 101.89 ポイントで引けた。

アメリカが中国を為替操作国と認定したことで、アメリカと中国の貿易戦争が激化したことが下落をもたらした、と多くの市場関係者は見ている。

加えて、上場企業の上期及び第 2 四半期決算が予想を下回ったことも引き金となった。

BIDV 証券によると、全上場企業の 93%に当たる 690 社以上が第 2 四半期決算を発表し、上期の税引後利益の総計は 108 兆ドンで前年比 3.4%増にとどまった。

51%の企業が増益を計上したのに対し、12%の企業は損失を計上した。しかしながら、利益の 3 分の 2 は大企業によるもので、大型株の貢献によるところが大きい。

特に銀行は市場の利益の 15.6%を占めた。これは中小型株は依然として難しい状況にあることを示していると、同証券はコメントした。

バオベト証券は最近のレポートで、企業決算は依然として市場への影響が大きい、近年は最も重要な要因ではないと述べている。

7月3日時点で、ベトナムの PER と PBR はそれぞれ 16.6 倍、2.4 倍で、周辺の市場と同水準となっている。

両取引所に上場する企業の決算は売上、利益とも減速を示しており、一株当たり利益の伸びは前年ほど高くない。2019年下期は、市場を牽引するのは業績だけではないと同社は述べている。

ベトキャピタル証券によると、トランプ大統領が中国からの残る3,000億ドルの輸入品に対し関税を課すことで人民元は対ドルで急落し、2008年5月以来の安値を付けた。人民元の急落を受けて周辺国の通貨も下落した。

ベトナムでは、ドンには海外からの堅調な投資資金の流入と輸出に支えられている。加えて、BIDV銀行が韓国のKEB HANA銀行に15%の株式(8億6千万ドル相当)を売却することが今年後半に予想され、為替レートの下支え要因になると思われる。

さらに、外貨準備高(輸入の3.1か月相当)も十分で、ベトナム国家銀行は予想外の外部要因に対してもドンを支えられるだろう。よって、2019年のドンの下落率は2%程度にとどまると同社は予想している。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。